

TOKYOを世界一の育業都市へ

# すごいです! 日本の育児休業制度は世界一。



世界各国の保育政策や育児休業政策を評価し、順位付けしているユニセフの専門研究センターによると、日本の育児休業制度は経済協力開発機構(OECD)及び欧州連合(EU)加盟国の中で1位と位置付けられています。完全賃金相当で取得できる父親の育児休業の期間が30週以上で最も長いことが評価されています。<sup>\*1</sup>

※1 「令和5年度男女共同参画白書」(内閣府)

## でも、男性の育休取得率はいまだ諸外国地球にくらべて低泣く赤ちゃん水準。

しかし、日本全体の育休取得率は、男性30.1%、女性84.1%<sup>\*2</sup>となっており、東京都においては、同38.9%、92.9%<sup>\*3</sup>とやや高いものの、男性の育休取得率は諸外国に比べてまだ低い状況です。男性の育休取得率は、比較可能な11か国の平均が55%であるのに対し、約25ポイントの差があります。<sup>\*1</sup>

※2 「令和5年度雇用均等基本調査」(厚生労働省)

※3 「令和5年度東京都男女雇用平等参画状況調査結果報告書」(東京都)

## いまこそ、男笑顔の男女笑顔の女を問わず、望む人誰もが『育業』家族がソファで過ごす様子できる社会都市風景の実現に向けて。

東京都では育児を「休み」ではなく「大切な仕事」と考え、『育業』の愛称のもと、多様な主体と連携してその理念を社会全体に発信しています。

## まずは、東京の職場ビジネスパーソンたちから!

業務にチームワークが必要なように、育児には職場の協力が不可欠です。世界を変える、未来の子供たちのためのアクションを、私たちとともに始めませんか。



# 育いくぎょう業

みんなで育てるしごと



詳しくは、「こどもスマイルムーブメント」ウェブサイトをご覧ください。

 東京都